

IR資料

-2023年3月期 第1四半期-

2022年08月09日
ニプロ株式会社



目次

新型コロナウイルス等の事業への影響	2
2022 年度 1Q 業績	3
販売費および一般管理費	4
為替影響を除いた損益比較	5
事業セグメント別 売上高・営業利益	6
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）	7
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）	8
セグメント業績 - ②医薬関連事業	9
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業	10
セグメント別・製品群別の売上高	11
セグメント別・地域別の売上高	12
製品分類表	13
製商品別売上高	14、15
為替感応度	16
設備投資額・減価償却費	17

新型コロナウイルス等の事業への影響

製造・購買・物流

今年度の工場稼働停止およびダイアライザライン(中国合肥、インド)の新設予定は下記。その他の国内外工場は通常稼働。

2022												2023			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		中国上海 ロックダウンの影響 3/13~3/15 稼働停止 3/16~3/20 10%以下に出勤率制限	中国上海 4/1~5/31 完全稼働停止		中国上海 6/1より 順次稼働再開	中国合肥 7/15 ダイアライザ3ライン目 新規稼働						インド ダイアライザ3ライン目 新規稼働予定		インド ダイアライザ4ライン目 新規稼働予定	

販売

- 透析用医療機器 : ダイアライザは日本、中国、北米で堅調、欧州は軟調に推移、透析センターは中南米にて拡大
- 循環器用医療機器 : カテーテルはコロナ影響の緩和により、手術件数が戻りつつあるため、主力製品、新製品、共に前年対比では大きく伸長
- 外科用医療機器 : 人工肺の需要は継続し、販売増加するも、補助心臓・整形外科製品の販売が減少
- 医療用消耗品 : 北米にてワクチン用シリンジの需要が拡大し、販売が増加
- 自社医薬品 : 注射剤の薬価上昇、販売数量増加により、全体で前年対比で増加
- 受託医薬品 : 前年は鏡石工場被災の影響により減少していたが、今年は回復
- ファーマパッケージング : また、他社後発品の品質問題の影響により、先発品への需要が増加したことで堅調に推移
- 調 : 米国、フランス、インドで生地管、米国でワクチン向けバイアル、欧州でバイオ製剤用シリンジの販売が堅

臨床試験

臨床試験の実施や承認申請への大きな影響はなし

2022年度1Q 業績

	2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額 (増減率)	上期予想 (進捗率)	通期予想 (達成率)	四半期別業績推移				
						2021年度				2022年度 1Q
						1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	1,180.0	1,278.9	+98.9 +8.4%	2,625.0 48.7%	5,400.0 23.7%	1,180.0	1,241.1	1,272.3	1,254.3	1,278.9
売上原価	817.9	886.8	+68.9 +8.4%	1,797.0 49.3%	3,707.0 23.9%	817.9	866.2	886.2	884.8	886.8
売上総利益 (※1)	362.0 30.7%	392.0 30.7%	+29.9 +8.3%	828.0 47.3%	1,693.0 23.2%	362.0 30.7%	374.9 30.2%	386.1 30.3%	369.4 29.5%	392.0 30.7%
販売管理費	306.9 26.0%	362.5 28.3%	+55.6 +18.1%	713.0 50.8%	1,418.0 25.6%	306.9 26.0%	301.4 24.3%	317.4 24.9%	328.0 26.2%	362.5 28.3%
営業利益	55.1 4.7%	29.5 2.3%	△25.6 △46.5%	115.0 25.7%	275.0 10.7%	55.1 4.7%	73.4 5.9%	68.7 5.4%	41.4 3.3%	29.5 2.3%
経常利益 (※2)	52.3 4.4%	73.3 5.7%	+21.0 +40.3%	114.0 64.3%	266.0 27.6%	52.3 4.4%	72.0 5.8%	81.1 6.4%	70.3 5.6%	73.3 5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	33.0 2.8%	52.7 4.1%	+19.7 +59.8%	67.0 78.7%	156.0 33.8%	33.0 2.8%	40.0 3.2%	37.3 2.9%	24.1 1.9%	52.7 4.1%
IFRSに準拠した場合の 当期純利益(概算額)	40.4	58.1	+17.7 +43.8%	- -	185.0 31.4%					

単位:億円

(※1) 売上総利益への未実現利益の影響額
2021年度1Q +7.9億円
2022年度1Q +4.7億円

(※2) 為替損益
2021年度1Q +4.7億円
2022年度1Q +50.7億円

- 売上高 医療機器ではコロナによる影響はなく、透析関連製品とバスキュラー関連製品は堅調に増加。一方で、ワクチン特需により米州での注射針類の販売が増加。
国内医薬では注射剤の販売が堅調、医薬品受託では経口剤の需要が堅調で販売は増加。
- 売上総利益 売上高は伸長するも、材料費と電力料が大きく高騰したことにより、売上総利益率は前年同程度にとどまる。
- 営業利益 営業活動の再開に伴う販促費・旅費交通費の増加に加え、海外における運送費の増加が大きく営業利益は減少。
- 経常利益 為替差益が46.0億円拡大したことにより、経常利益は増加。
- 当期純利益 不動産売却による特別利益が発生し、当期純利益は増加。

販売費および一般管理費

【販売費および一般管理費】

単位:億円	2021年度 1Q	2022年度1Q		増減	増減率	2022年度 通期予想
		実績	構成比			
人件費	104.7	110.2	30.4%	+5.5	+5.3%	442.5
研究開発費(※1)	44.9	54.2	15.0%	+9.3	+20.7%	197.5
運送費	28.6	53.7	14.8%	+25.1	+87.8%	215.0
償却費(※2)	26.0	24.7	6.8%	△1.3	△5.0%	108.0
販促費(※3)	21.6	28.0	7.7%	+6.4	+29.6%	92.0
旅費交通費	7.2	9.9	2.7%	+2.7	+37.5%	34.0
保管料	7.1	8.7	2.4%	+1.6	+22.5%	27.0
その他	66.4	72.7	20.1%	+6.3	+9.5%	302.0
合計	306.9	362.5	100.0%	+55.6	+18.1%	1,418.0

(※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費

(※2) 減価償却費・のれん償却費

(※3) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

●販売費および一般管理費

引き続きエネルギーコストの高騰が続いていることから、運送費が対前年で大きく増加。
新型コロナウイルス感染症の影響による行動自粛が緩和されたことに伴い、旅費交通費・販促費が対前年で増加。

●研究開発費

医療 透析情報管理システムの開発費増加に加え、薬剤溶出ステントの治験費用が増加したことで前年比増加

医薬 開発中の高額原薬購入に加え治験費用が増加するも、経口剤開発費用が減少したことから前年比微減

【研究開発費(連結)】※

単位:億円	2021年度 1Q	2022年度 1Q	通期予想 (進捗率)
医療	22.1	23.7	89.5 26.5%
医薬	22.8	30.5	108.0 28.2%
合計	44.9	54.2	197.5 27.4%

※製造費用に含まれる研究開発費を含む

為替影響を除いた損益比較

	2021年度 1Q	2022年度 1Q	為替の影響 (※)	影響を除いた 2022年度	増減率
単位：億円	[a]	[b]	[c]	[d=b-c]	[d÷a]
売上高	1,180.0	1,278.9	+39.5	1,239.4	+5.0%
売上原価	817.9	886.8	+19.2	867.6	
売上総利益	362.0	392.0	+20.3	371.7	+2.7%
(%)	30.7%	30.7%		30.0%	
販管費	306.9	362.5	+9.6	352.9	
営業利益	55.1	29.5	+10.7	18.8	△65.9%
(%)	4.7%	2.3%		1.5%	
営業外収益	12.3	60.0	+45.9	14.1	
営業外費用	15.1	16.2		16.2	
経常利益	52.3	73.3	+56.6	16.7	△68.1%
特別利益	4.5	19.4		19.4	
特別損失	3.9	2.7		2.7	
税引前利益	52.8	90.0	+56.6	33.4	△36.7%
法人税等	17.4	32.6	+20.5	12.1	
非支配株主に 帰属する純利益	2.3	4.6		4.6	
当期利益	33.0	52.7	+36.1	16.6	△49.7%

※ 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算
円貨取引における為替の影響は考慮していません

期中平均レート	2021年	2022年	期末レート	2020年	2021年	2021年	2021年	2022年	2022年
	1~3月	1~3月		12月	3月	6月	12月	3月	6月
1 USD	107.15	117.79	1 USD	103.50	110.71	110.58	115.02	122.39	136.68
1 EUR	128.48	131.57	1 EUR	126.95	129.80	131.58	130.51	136.70	142.67
1 中国元	16.45	18.56	1 中国元	15.88	16.84	17.11	18.06	19.26	20.38

事業セグメント別 売上高・営業利益

売上高

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2022年度予想】
医療関連事業	2022年度1Q	976.5	+70.1	+7.7%	4,095.0
	2021年度1Q	906.3			
医薬関連事業	2022年度1Q	178.7	+14.8	+9.0%	790.0
	2021年度1Q	163.8			
ファーマパッケージング事業	2022年度1Q	122.1	+13.9	+12.9%	512.0
	2021年度1Q	108.2			

営業利益

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2022年度予想】
医療関連事業	2022年度1Q	84.6	△10.4	△11.0%	407.0
	2021年度1Q	95.0			
医薬関連事業	2022年度1Q	4.0	△1.7	△30.6%	99.0
	2021年度1Q	5.8			
ファーマパッケージング事業	2022年度1Q	10.1	+1.6	+19.9%	33.0
	2021年度1Q	8.4			

- 医療関連事業 売上は伸長するも、主に海外における運送費高騰と行動制限緩和に伴う販促費・旅費交通費の増加により、営業減益。
- 医薬関連事業 売上は伸長するも、材料費と電力料・水道光熱費が高騰したことにより、営業減益。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2022年度予想】
国内事業	2022年度1Q	517.6	+18.2	+3.6%	2,220.0
	2021年度1Q	499.4			
医療機器	2022年度1Q	289.7	+10.3	+3.7%	1,258.5
	2021年度1Q	279.4			
医薬品	2022年度1Q	227.9	+7.9	+3.6%	961.5
	2021年度1Q	220.0			
ダイアライザ	2022年度1Q	55.5	+2.1	+3.9%	229.6
国内売上高	2021年度1Q	53.4			

● 医療機器

ダイアライザは、販売が堅調に推移。

更に、前年は増産対応のための一時的な製造ラインの停止に伴い、販売が減少していたため、前年対比で増加

カテーテル類は、コロナ影響の緩和により、手術件数が戻りつつあるため、主力製品の薬剤溶出バルーンや新製品のPTCAバルーンカテーテルの販売が増加し、前年対比では大きく伸長。

注射針類は、コロナ需要の緩和によりシリンジは販売が減少するも、その他製品全般の販売が堅調に推移したことにより、全体としては前年比で増加。コロナ需要の緩和により手袋の販売が減少。

● 国内医薬

今年度の薬価改定により、経口剤は全体的に薬価が下がったものの、注射剤は不採算再算定品目の薬価が上がったことに加え、販売数量が増加したことにより、前年対比で増加。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2022年度予想】
国際事業	2022年度1Q	445.7	+48.3	+12.2%	1,828.0
	2021年度1Q	397.4			
B2B(他社ブランド)	2022年度1Q	56.5	△3.5	△5.8%	229.9
	2021年度1Q	60.0			
ニプロブランド	2022年度1Q	389.0	+51.7	+15.3%	1,598.0
	2021年度1Q	337.3			
アメリカ	2022年度1Q	173.8	+31.1	+21.8%	694.1
	2021年度1Q	142.7			
ヨーロッパ	2022年度1Q	89.7	△5.1	△5.4%	359.8
	2021年度1Q	94.8			
アジア	2022年度1Q	66.9	+10.3	+18.2%	289.4
	2021年度1Q	56.6			
中国	2022年度1Q	58.4	+15.3	+35.5%	254.6
	2021年度1Q	43.1			
ダイアライザ 海外売上高	2022年度1Q	140.4	+11.4	+8.8%	594.7
	2021年度1Q	129.0			

●B2B

翼状針は堅調に推移するも、インスリン用針は販売が減少。

●ニプロブランド

ダイアライザの数量は、中国にて国産化推奨の動きから合肥工場製の需要が拡大し、引き続き大きく伸長。北米は需要拡大し好調。欧州はロシアのウクライナ侵攻により、引き続き軟調に推移。

その他については、中南米を中心に透析センターの開設が進み、透析関連製品含め好調に推移。

北米にて、カナダでワクチン用シリンジが需要拡大し、販売が増加。

透析装置は、欧州で軟調に推移するも、中国で需要拡大し増加。

セグメント業績 - ② 医薬関連事業

		単位：億円	【増減額】	【増減率】	【2022年度予想】
医薬関連事業	2022年度1Q	178.7	+14.8	+9.0%	790.0
	2021年度1Q	163.8			
< 受託売上高内訳 >					
ジェネリック品	2022年度1Q	102.6	+13.2	+14.8%	400.6
	2021年度1Q	89.4			
先発品	2022年度1Q	53.2	+0.4	+0.8%	289.8
	2021年度1Q	52.8			
OTC 原薬他	2022年度1Q	9.5	△1.4	△12.8%	46.7
	2021年度1Q	10.9			
JMIファーマ	2022年度1Q	13.2	+2.7	+25.7%	52.9
	2021年度1Q	10.5			

- **ジェネリック品** 前年は鏡石工場被災などの影響により減少していたが今年は回復、また、新規受託品の出荷を開始し、前年対比で販売が増加。
- **先発/長期収載品** 他社後発品の品質問題の影響により、先発品への需要が増加したことで堅調に推移。
- **OTC/原薬他** 昨年は原薬受注が集中したことにより、前年対比で販売が減少。
- **JMIファーマ** 営業人員の増員、販売促進費の増額により顧客開拓し、前年対比で販売が増加。

セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

	2022年度1Q	2021年度1Q	【増減額】	【増減率】	【2022年度予想】
ファーマパッケージング事業	122.1	108.2	+13.9	+12.9%	512.0
＜ 地域別売上高内訳 ＞					
日本	29.0	27.4	+1.6	+5.8%	111.0
海外	93.0	80.7	+12.3	+15.2%	401.0
ヨーロッパ	48.5	39.6	+8.9	+22.5%	195.5
アメリカ	25.7	23.2	+2.5	+10.8%	105.0
中国	13.8	14.8	△1.0	△6.8%	87.0
インド	4.8	2.9	+1.9	+65.5%	13.5

- **日本** バイアル向け生地管の需要が増加し、前年対比で販売が増加。
抗菌剤向けバイアルの需要が回復し、前年対比で販売が増加。
スポンジスワブなどの検査関連製品が前年対比で販売が増加。
- **海外** 生地管は前年にアメリカ、フランス、インドにて窯改修実施した影響により販売が減少していたが、今期は堅調。
米国でのワクチン向けバイアル、欧州でのバイオ製剤用シリンジの販売が堅調。
クロアチア企業の買収により、欧州でのアンプルの販売が増加。
中国ではワクチン向けバイアルが需要減少の影響により、軟調に推移。

セグメント別・製品群別の売上高

セグメント 製品	単位：億円	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパケ ージング事業	その他 事業	合計
医療機器	2022年度1Q	725.1	0.0	8.2	0.0	733.3
	2021年度1Q	668.1	0.0	(※3) 7.4	0.0	675.5
医薬品	2022年度1Q	(※1) 251.3	(※2) 178.7	0.8	0.0	430.9
	2021年度1Q	237.8	163.8	0.8	0.0	402.6
ファーマ パッケージング	2022年度1Q	0.0	0.0	112.2	0.0	112.2
	2021年度1Q	0.0	0.0	99.6	0.0	99.7
その他	2022年度1Q	0.0	0.0	0.8	1.5	2.4
	2021年度1Q	0.2	0.0	0.2	1.5	2.0
合計	2022年度1Q	976.5	178.7	122.1	1.5	1,278.9
	2021年度1Q	906.3	163.8	108.2	1.5	1,180.0

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

セグメント別・地域別の売上高

セグメント		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマッケー ジング事業	その他 事業	合計
地域	単位：億円					
日本	2022年度1Q	503.0	164.9	29.2	1.5	698.7
	2021年度1Q	489.2	152.0	27.5	1.4	670.3
海外計	2022年度1Q	473.4	13.7	92.9	0.0	580.1
	2021年度1Q	417.0	11.8	80.7	0.0	509.7
アメリカ	2022年度1Q	195.0	0.0	24.6	0.0	219.7
	2021年度1Q	159.2	0.2	22.1	0.0	181.6
ヨーロッパ	2022年度1Q	111.3	0.1	48.2	0.0	159.7
	2021年度1Q	112.7	0.6	39.5	0.0	153.1
中国	2022年度1Q	74.6	0.0	13.1	0.0	87.8
	2021年度1Q	59.2	0.0	14.8	0.0	74.1
その他アジア	2022年度1Q	92.4	13.5	6.8	0.0	112.8
	2021年度1Q	85.7	10.8	4.1	0.0	100.7
合計	2022年度1Q	976.5	178.7	122.1	1.5	1,278.9
	2021年度1Q	906.3	163.8	108.2	1.5	1,180.0

● **地域別** 2022年度1Qの地域別売上高比率は国内54.6%、海外45.4%であり、いずれの地域も販売は堅調。

● **セグメント別** 医療関連事業は、国内・海外共にダイアライザや注射針類、バスキュラー関連製品の販売が堅調。

医薬関連事業は、前年は鏡石工場被災などの影響により減少していたが、今年は回復し、前年対比で販売が増加。

ファーマパッケージング事業は、中国ではワクチン向けバイアルの販売が減少するも、日本ではバイアル・生地管、アメリカではワクチン向けバイアル、欧州ではアンブルとバイオ製剤用シリンジの販売が堅調。

製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカメラ 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺、整形外科製品
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（プロバック、スクリュー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

製商品別売上高（1）

事業分類	単位：億円	全社				海外				日本			
		2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額	増減率	2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額	増減率	2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額	増減率
[医療機器]	ダイアライザ	182.4	195.9	+13.5	+7.4%	129.0	140.4	+11.4	+8.9%	53.4	55.5	+2.0	+3.9%
	透析機器	51.5	51.5	0.0	△0.0%	33.0	33.2	+0.1	+0.4%	18.4	18.3	△0.1	△0.7%
	その他透析関連	83.6	100.2	+16.5	+19.8%	64.3	79.8	+15.5	+24.2%	19.3	20.3	+1.0	+5.3%
	透析関連製品計	317.6	347.7	+30.0	+9.5%	226.4	253.5	+27.0	+12.0%	91.2	94.2	+2.9	+3.3%
	注射針類	98.1	118.5	+20.4	+20.8%	62.1	81.2	+19.1	+30.7%	35.9	37.2	+1.3	+3.6%
	バスキュラー関連製品	77.7	87.5	+9.8	+12.7%	13.5	16.0	+2.5	+19.1%	64.2	71.4	+7.2	+11.3%
	輸液関連製品	38.7	41.4	+2.7	+7.1%	11.4	14.2	+2.7	+24.3%	27.2	27.2	0.0	△0.1%
	検査製品	25.4	25.9	+0.4	+1.9%	17.6	17.4	△0.2	△1.2%	7.8	8.5	+0.6	+8.8%
	糖尿病関連製品（※1）	21.8	19.7	△2.0	△9.5%	17.5	17.0	△0.5	△2.9%	4.2	2.6	△1.5	△36.7%
	SD関連製品	16.0	15.7	△0.2	△1.5%	1.7	2.6	+0.9	+52.7%	14.2	13.1	△1.1	△8.1%
	その他	79.3	75.5	△3.8	△4.8%	48.5	47.6	△0.8	△1.8%	30.8	27.9	△2.9	△9.5%
部 門 計	675.0	732.5	+57.4	+8.5%	399.0	449.9	+50.8	+12.7%	275.9	282.5	+6.5	+2.4%	
[医薬品(自社)]	経口剤	98.7	96.4	△2.3	△2.3%	0.0	0.0	0.0	△25.9%	98.6	96.3	△2.3	△2.3%
	注射剤・輸液	99.9	115.4	+15.4	+15.4%	17.1	22.6	+5.5	+32.3%	82.8	92.7	+9.8	+11.9%
	外用剤・貼付剤	16.5	16.3	△0.2	△1.3%	-	-	-	-	16.5	16.3	△0.2	△1.3%
	その他・体外診断薬 等	22.5	23.1	+0.5	+2.6%	0.7	0.7	0.0	△1.9%	21.8	22.4	+0.6	+2.8%
部 門 計	237.8	251.3	+13.4	+5.7%	17.9	23.4	+5.5	+30.7%	219.9	227.8	+7.9	+3.6%	
[再生医療]	再生医療等製品	0.5	0.8	+0.2	+44.4%	-	-	-	-	0.5	0.8	+0.2	+44.4%

（※1）今年度より【医療機器】のうち、「その他」に分類されていた整形外科製品を「SD関連製品」に再分類しています。

製商品別売上高（2）

事業分類	単位：億円	全社				海外				日本			
		2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額	増減率	2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額	増減率	2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減額	増減率
【医薬品(受託)】	経口剤	66.5	78.2	+11.7	+17.6%	0.3	0.1	△0.1	△56.5%	66.2	78.1	+11.8	+17.9%
	注射剤・輸液	65.8	69.3	+3.5	+5.4%	0.7	0.3	△0.3	△48.5%	65.1	68.9	+3.8	+6.0%
	外用剤・貼付剤	14.1	12.6	△1.4	△10.3%	-	-	-	-	14.1	12.6	△1.4	△10.3%
	その他・体外診断薬 等	7.5	6.0	△1.5	△20.9%	0.1	0.0	△0.1	△90.3%	7.3	5.9	△1.4	△19.1%
	部 門 計	154.1	166.3	+12.1	+7.9%	1.2	0.5	△0.7	△57.3%	152.9	165.8	+12.9	+8.4%
【医薬品(JMIP)】	経口剤	10.4	13.0	+2.6	+25.1%	10.4	13.0	+2.6	+25.1%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.1	0.1	0.0	+20.2%	0.1	0.1	0.0	+20.2%	-	-	-	-
	部 門 計	10.5	13.2	+2.6	+25.1%	10.5	13.2	+2.6	+25.1%	-	-	-	-
【ファーマ パッケージング】	生地管関連	22.4	27.8	+5.3	+23.9%	17.4	22.5	+5.1	+29.4%	5.0	5.2	+0.2	+5.0%
	アンプル硝子	10.9	15.7	+4.7	+43.4%	10.9	15.7	+4.7	+43.2%	0.0	0.0	0.0	+146.3%
	バイアル硝子	38.5	40.4	+1.8	+4.8%	34.9	35.6	+0.7	+2.2%	3.6	4.7	+1.0	+29.5%
	シリンジ硝子	13.8	13.7	0.0	△0.4%	13.5	13.6	+0.1	+0.8%	+0.2	0.0	△0.1	△76.6%
	ゴム栓・栓体類	4.2	4.5	+0.2	+7.1%	1.2	1.3	0.0	+6.3%	2.9	3.1	+0.2	+7.4%
	プラスチック容器	5.3	4.5	△0.7	△14.0%	0.0	0.0	0.0	△99.2%	5.2	4.5	△0.6	△12.7%
	魔法瓶	0.9	0.9	0.0	△6.5%	-	-	-	-	0.9	0.9	0.0	△6.5%
	その他	3.4	4.4	+1.0	+32.1%	2.4	3.7	+1.3	+55.2%	0.9	0.7	△0.2	△25.2%
部 門 計	99.7	112.2	+12.5	+12.6%	80.6	92.7	+12.0	+15.0%	19.0	19.5	+0.4	+2.3%	
【その他】	生産機械販売・不動産賃貸	2.0	2.4	+0.3	+17.5%	0.1	0.2	0.0	+21.2%	1.8	2.1	+0.3	+17.2%
連結合計		1,180.0	1,278.9	+98.9	+8.4%	509.7	580.1	+70.4	+13.8%	670.3	698.7	+28.4	+4.2%

為替感応度

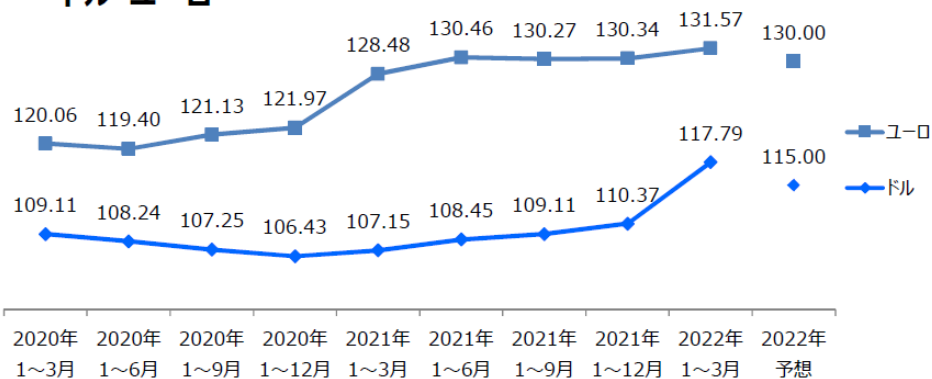
【1円変動による年間影響額】

(億円)

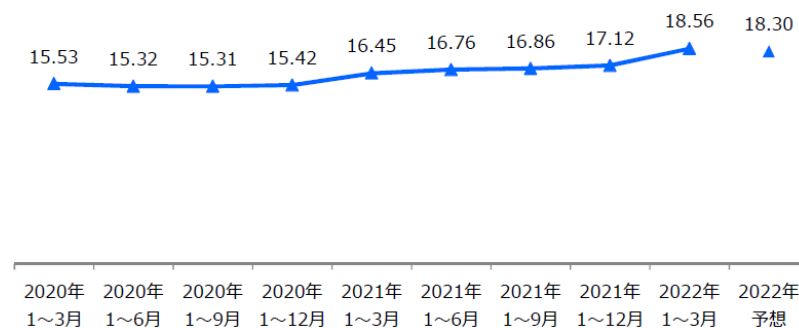
	ドル	ユーロ	元
売上高	8.7	4.5	18.8
営業利益	1.0	1.6	13.0

【期中平均レート】

ドル・ユーロ



元



設備投資額・減価償却費

	設備投資額			減価償却費		
	2021年度 1Q	2022年度 1Q	2022年度 通期予想 (進捗率)	2021年度 1Q	2022年度 1Q	2022年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円						
医療関連	87.4	49.0	311.7 15.7%	45.5	49.6	192.0 25.8%
医薬関連	53.4	62.1	182.5 34.0%	30.4	31.0	141.0 22.0%
ファーマパッケージング	16.4	25.8	123.0 21.0%	11.3	11.8	52.5 22.5%
その他	6.3	4.6	15.0 30.7%	11.3	11.4	36.5 31.2%
合計	163.7	141.7	632.2 22.4%	98.8	103.9	422.0 24.6%

(※) 今年度より、設備投資額の表示形式を検収ベースから計上ベースに変更しております。

● 設備投資額

医療は前年に不動産取得及びダイアライザ製造ラインの新設に係る大型投資が発生していたことから、今期は前年比で大きく減少。

医薬はニプロファーマ近江工場新設に関する設備投資が継続し、前年比増加。

ファーマパッケージングはフランスのガラス窯の投資が今期にずれ込んだことにより、前年比増加。

● 減価償却費

各セグメント共に大きな工期遅延等も無く設備の稼働を開始できており、減価償却費はほぼ予算並みかつ前年比同程度で推移。

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。

